

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月30日

宮崎市長 殿



提出者

住 所 宮崎市鶴島3丁目252番
 氏 名 宮崎市上下水道事業管理者
 上下水道局長 下郡 嘉浩
 (公 印 省 略)

電話番号 0985-47-5477(浄水課直通)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	下北方浄水場
事業場の所在地	宮崎市下北方町寺ヶ迫5437番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	上水道業
②事業の規模	給水量 25,796,379 m ³ (令和4年度)
③従業員数	4名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
総括責任者	浄水課長	山元 正誠
下北方浄水場	主幹兼場長	内山田 功

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	浄水汚泥
	排出量	13,240 t t
	(これまでに実施した取組) ・天日乾燥と機械脱水の二つの方法により中間処理を行い、浄水汚泥を減量している。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	浄水汚泥
	排出量	13,240 t t
	(今後実施する予定の取組) ・天日乾燥と機械脱水の二つの方法により中間処理を行い、浄水汚泥を減量する。	

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・汚泥のみの発生のため、分別なし。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・汚泥のみの発生のため、分別なし。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	浄水汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1, 564 t	t
	(これまでに実施した取組) ・天日乾燥と機械脱水により中間処理した汚泥のうち一部を有償売却して有効利用している。(園芸土など)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	浄水汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1, 564 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・天日乾燥と機械脱水により中間処理した汚泥のうち一部を有償売却して有効利用する。(園芸土など)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	浄水汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	11, 472 t	t
	(これまでに実施した取組) ・天日乾燥と機械脱水の二つの方法により中間処理を行い、浄水汚泥を減量している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	浄水汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	11, 472 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・天日乾燥と機械脱水の二つの方法により中間処理を行い、浄水汚泥を減量する。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	浄水汚泥	
	全処理委託量	204 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	204 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・産業廃棄物収集、運搬を処理業者に委託し中間処理(発酵堆肥化)後、肥料として再資源化を図っている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	浄水汚泥	
	全処理委託量	204 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	204 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・産業廃棄物収集、運搬を処理業者に委託し中間処理(発酵堆肥化)後、 肥料として再資源化を図る。		
※事務処理欄			

